

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和3年6月24日

大分県知事 広瀬 勝 貞 殿



提出者

住 所 大分県玖珠郡九重町大字右田3364番地

氏 名 八鹿酒造 株式会社

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0973-76-2888

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	八鹿酒造 株式会社
事業場の所在地	大分県玖珠郡九重町大字右田3364番地
計画期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	酒類製造業
②事業の規模	売上1,562百万円
③従業員数	87人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃酸	植物性残渣	汚泥	廃プラスチック	金属屑	紙くず
	排出量	1156.5 t	10t	2.75t	0.43t	1.07t	0.2t
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>廃酸については焼酎製造時の酒化率を上げ、原料を低減し生産ができるよう研究を進めている。社内ではゴミの分別を強化し、低減に繋がった。</p> <p>廃プラスチックは設備の老朽化に伴い廃棄した。鉄屑と紙パックは豪雨被害関係の廃棄物であり、製造により継続的に発生するものではない。</p>						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃酸	植物性残渣	汚泥	廃プラスチック	金属屑	紙くず
	排出量	1100 t	10t	2t	0t	0t	0t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>上記内容を継続して行う。また、製造数量が増加しても、現在排出している量と原料比が大きくなるように抑制する。</p>						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>産廃の分類ごとに容器等で分別できている。</p>
②計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>現状でうまく行えているため、今後も継続し、分別の徹底を行う。</p>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃酸	植物性残渣	汚泥	廃プラスチック	鉄屑	紙くず
	全処理委託量	1156.5 t	10t	2.75t	0.43t	1.07t	0.2t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	1156.5t	10t	0t	0.43t	1.07t	0.2t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	(これまでに実施した取組)						
	最終処分での埋立をできる限り回避し、廃棄物の資源化及び肥飼料など再生利用できる業者と取引を行っている。 汚泥は活性炭が主で、前年と同様で農家の引受先がなく、産廃業者へ委託し、埋立処分となっている。 廃プラスチック及び一部鉄屑は再生処理を行っている。 一部の鉄屑及び紙くずは、再生処理が困難であり、産廃業者へ委託し、埋立処分となった。						

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃酸	植物性 残渣	汚泥	廃プラス チック	鉄屑	紙くず
	全処理委託量	1156.5 t	10t	2t	0t	0t	0t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	再生利用業者への 処理委託量	1156.5t	10t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
(今後実施する予定の取組) 現状の再生利用率を維持する。							
※事務処理欄							

管理体制（産業廃棄物に関する管理組織等）

責任者	職・氏名 : 製造部 加藤正雄
担当者	HACCP TEAM : 10名 産業廃棄物担当者 : 1名
役割	<p>HACCP TEAM</p> <ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する 事務局：HACCP TEAM 委員長：HACCP委員長 委員：HACCPメンバー
	<p>廃棄物責任者 (HACCP委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理方針の策定 ○工場の廃棄物管理規定の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認 ○監督官庁への各種報告
	<p>廃棄物処理担当者</p> <ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○社員、関連会社に対する教育・啓発 ○その他関係する事項

廃棄物管理組織

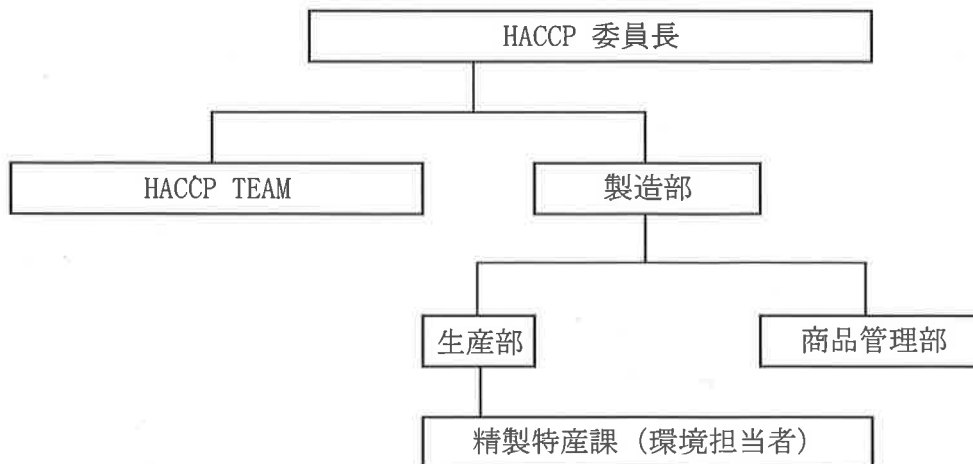


図1 清酒製造フローシート

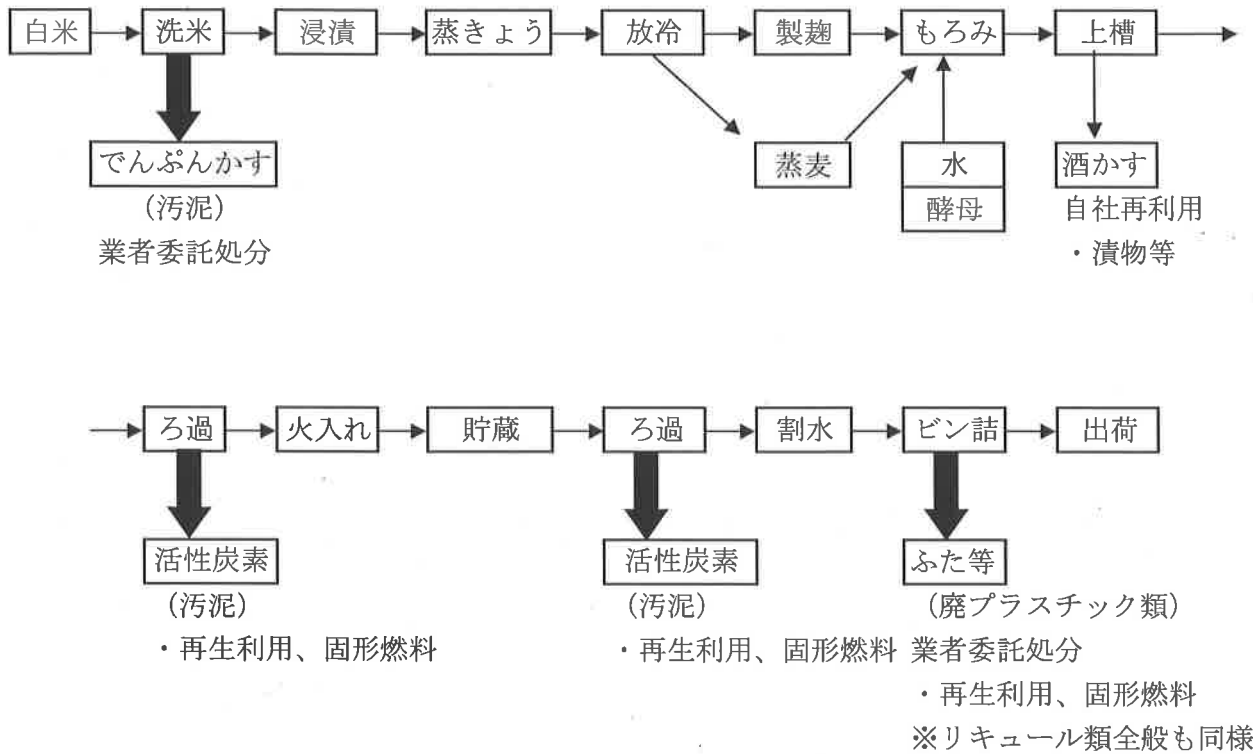


図2 焼酎製造フローシート

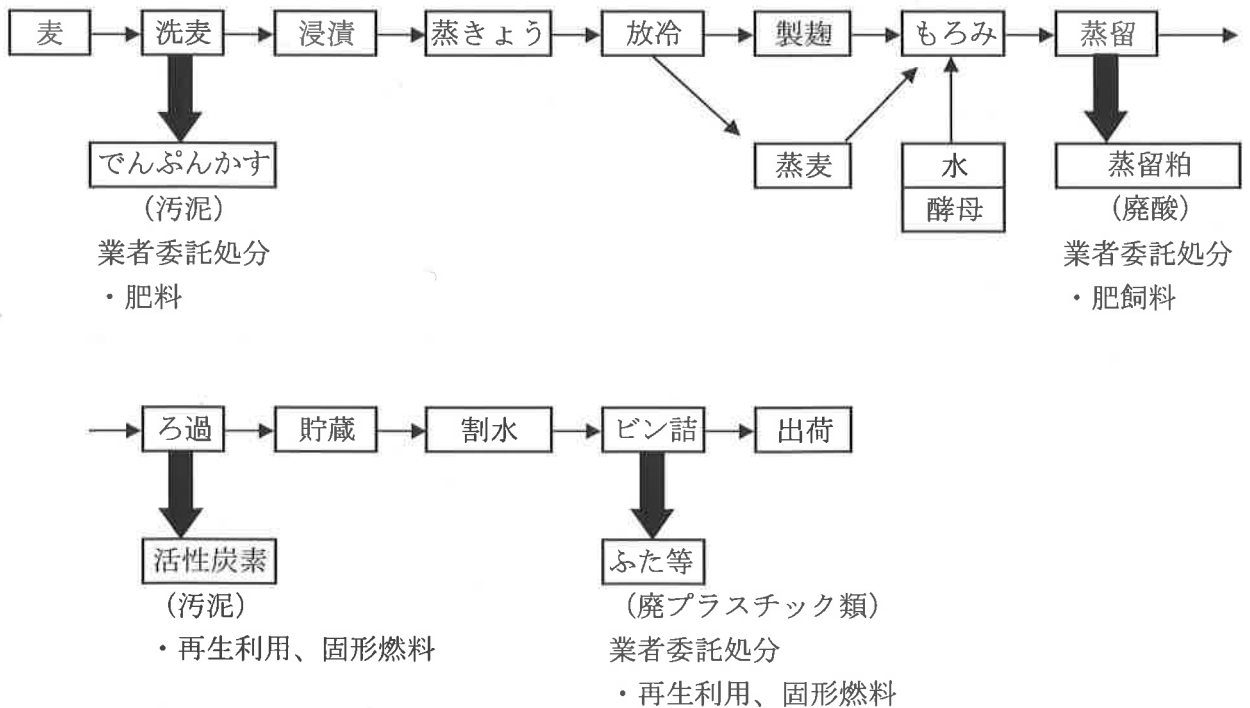
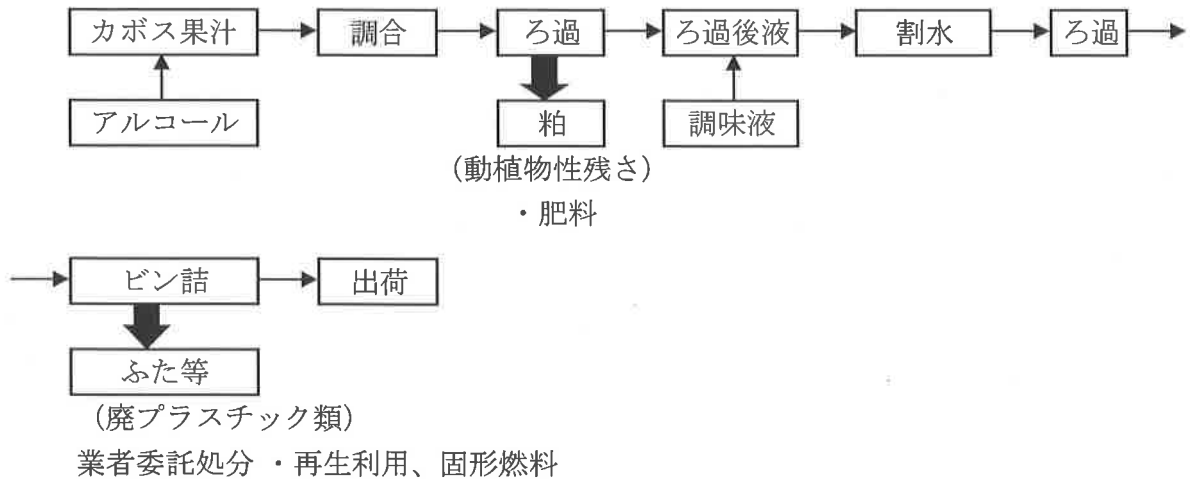
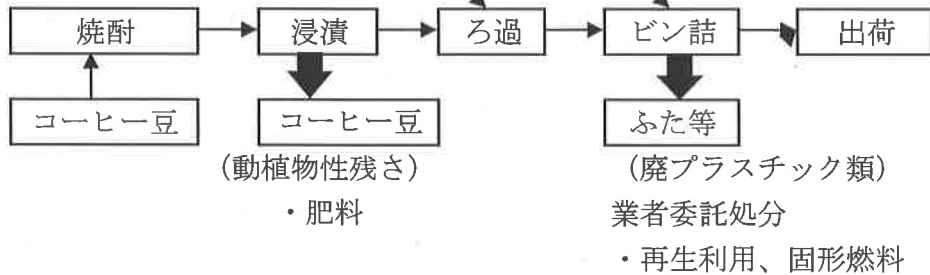


図3 リキュール製造フローシート
《カボスリキュール》



《珈琲リキュール》



《ゆずリキュール》

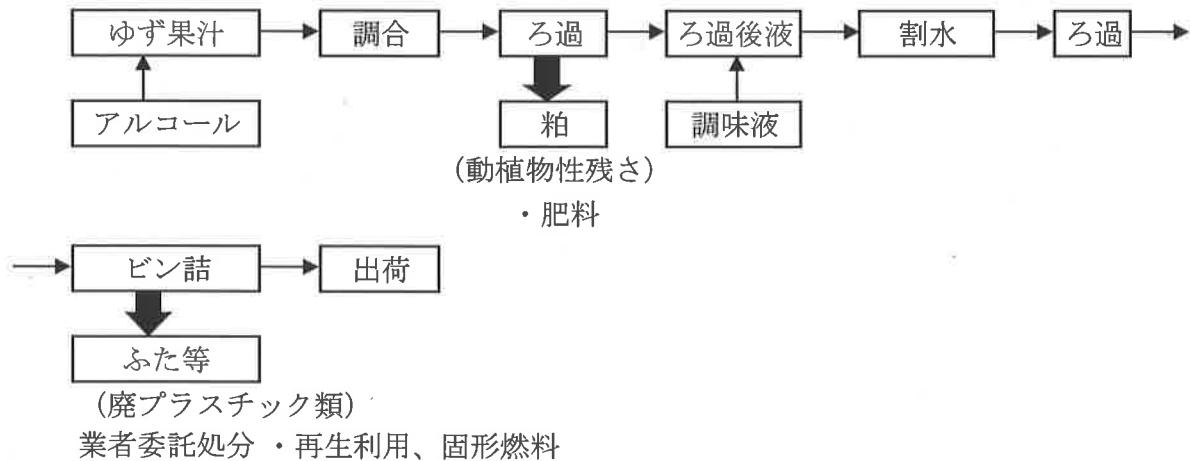


図4 漬物製造フローシート

